

事業概要説明シート

事務事業番号 30832

事務事業名	生きがいと健康づくり推進事業		
事業開始年度	平成6年度～	担当部署	福祉部高齢社会室

根拠法令	決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: NPO法人NALC枚方拠点) <input type="checkbox"/> その他()
目的 (何のために)	高齢者が学びたいことを自由に学び、生きがいとチャレンジ精神をもった暮らしづくりを支援する。
対象 (誰・何を対象に)	60歳以上の市民
事業内容	パソコン、写真、英会話、水彩画、絵手紙、つまみ絵、書道、料理教室等各種講座からなる「生きがい創造学園」を実施する。
類似事業	なし
事業の必要性	家庭に閉じこもりがちな高齢者に対して生きがいを見いだす場や社会活動に参加する機会を提供することで、介護予防につながり、ひいては介護保険における給付費の抑制につながることから必要である。

コ ス ト		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.14人	1,136千円	0.14人	1,133千円	0.14人	1,120千円	
再任用職員	0.00人	0千円	0.00人	0千円	0.00人	0千円	
非常勤職員等	0.05人	80千円	0.05人	89千円	0.05人	89千円	
人件費計(A)		1,216千円		1,222千円		1,209千円	
直接経費(B)		9,715千円		9,793千円		9,915千円	
総事業費(A+B)		10,931千円		11,015千円		11,124千円	

財源内訳		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
国庫支出金	3,481千円	3,515千円	3,505千円				
府支出金	1,740千円	1,757千円	1,753千円				
受益者負担 (使用料等)	1,013千円	1,006千円	1,040千円				
その他	1,740千円	1,757千円	1,864千円				
一般財源	2,957千円	2,980千円	2,962千円				

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	生きがいと健康づくり推進事業経費(消耗品費6、通信運搬費16、委託料9715、 庁用器具費56)委託料…NPO法人NALC枚方拠点	9,793千円
		千円
		千円

事業概要説明シート

事務事業番号 30832

事務事業名	生きがいと健康づくり推進事業				
事業開始年度	平成6年度～	担当部署	福祉部高齢社会室		
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
	① 講座数(通常講座及び短期講座)	講座	21	20	19
	② 参加者数(通常講座及び短期講座)	人	491	493	490
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/講座数	円	520,524	550,750	585,474
	② 総事業費/参加者数	円	22,263	22,343	22,702
	③				
成果目標 (目標とする成果)	各講座に定員どおりの参加があり、受講を通じて、生きがいづくりや社会参加の促進を図る。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)					
特記事項	敬老金廃止に伴う代替施策のひとつ。 平成7年度…事務局体制を構築し、10月から3講座を開始。 平成8年度…19講座(前後期計)、平成9年度…20講座(前後期計)、平成10年度…13講座(通年) 平成15年度から事務局業務を委託。 平成24年度は事業実施拠点をそれまでの教育文化センターから輝きプラザきららに変更				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	申込みの少ない講座を中心に高齢者のニーズに合わせた講座内容の見直しをしつつ継続する。			
一次評価結果	・事業内容の見直しが必要では ・事業自体のあり方の検討が必要では 【確認】 すでに全面委託の事業とのことであるが、逆に事務事業総点検チェックリスト項目の「コストの比較・分析」、「サービス水準の把握」について行政側が行っていないのはNPOへの丸投げ状態になっていないか？行政側とNPOとの連携も問われるであろう。「充実」か「縮小」の方向性の以前にまず担当所管が当事業をしっかりと検証する必要があると思われる。				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	これまでから高齢者のニーズに合わせた講座内容とするため、応募数及び修了者数の少なかった講座については、事業者と毎年内容の検証を行なっている。全体として定員の2倍以上の申込みがあり(平成24年実績)、受講生アンケートでも「満足」との意見が多い中、現状を基本として、さらなる講座内容の充実を図る。			